

海遊館の赤ちゃんペンギンたちが すくすく育っています！

～過去、最多！ジェンツーペンギンが4羽生まれました～

大阪市港区の海遊館では、平成 29 年 6 月 20 日（火）から 26 日（月）にかけてジェンツーペンギンの赤ちゃんが計 4 羽誕生しました。「南極大陸」水槽では、赤ちゃんの愛くるしい姿と微笑ましい子育ての様子をご覧いただけます。また同水槽では 6 月 28 日と 29 日にアデリーペンギンの赤ちゃん 2 羽も誕生しており、ペンギンたちのベビーラッシュが続いています。



「南極大陸」水槽では今回誕生したジェンツーペンギンの赤ちゃんをはじめ、3 ペアの親鳥が子育て中で、順調に成長しています。担当の飼育員は毎朝赤ちゃんの体重を測定し、成長と健康状態を観察しています。

※報道関係の皆様へ

赤ちゃんペンギンの体重測定の様子を水槽内で撮影していただけます。
撮影をご希望の際は、事前にご連絡下さい。

【ジェンツーペンギンの赤ちゃんについて】

孵化日：平成29年6月20日（火）、21日（水）、25日（日）、26日（月）

雛の大きさ：体重 82.4g～93.3g（孵化時）

体重 104.5g～322.4g（6月29日時点）

※現在、「南極大陸」水槽で一般公開しています。

※海遊館で生まれ生育したジェンツーペンギンは、今回の4羽を加えて、計15羽となりました。

【ジェンツーペンギンについて】

ジェンツーペンギン 英名：Gentoo penguin 学名：*Pygoscelis papua*

ペンギン科。頭頂部にある白い斑紋が特徴。成長すると体長約75cmになる。南極半島や南極周辺の島々に生息。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレーター状の巣を作り、メスは1回の産卵で通常2個の卵を産む。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

【ミナミイワトビペンギン人工授精の結果について】

葛西臨海水族園（東京）と共同研究で、凍結保存精子を用いた人工授精を実施しました。人工授精を実施したメス2羽から3つの卵が得られ、平成29年6月7日に1羽の雛が誕生しました。今回、卵殻の内側に付着した血液からDNA検査を実施した結果、**自然受精**であることが判明しました。

今後も絶滅危惧種に指定されているミナミイワトビペンギンの保全に貢献することなどを目的に、精子の凍結保存や人工授精の技術確立を目指し研究に取り組んでいきます。

個体（メス）	産卵日	孵化日	DNA 鑑定の結果（父個体）
R301	5/1	未受精	
R301	5/5	6/7	自然繁殖（同水槽、R302 9才）
R203	5/11	未受精	